

問1 京都市では、歴史的な景観を保全しながら都市の活力を維持するため、地域ごとに建物の高さの上限を定める「新景観政策」を導入しています。この制度において、歴史的な建造物が多く残る「保全区域」や、都市の再生を図る「再生区域」など、区域によって最高限度を細かく設定している主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2015年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 市内のどの場所からも山並みが見えるようにし、歴史的建造物と調和した景観を維持するため | 2. 工業化を優先させるために、住宅地以外の区域では高さ制限をすべて撤廃するため | 3. 市全域で一律の高さ制限を設けることで、建築コストを抑え住民の負担を軽減するため | 4. すべての区域で高層ビルの建設を促進し、周辺都市よりも人口密度を高めるため |
|---|--|--|---|

問2 近畿地方の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり500人以上700人未満の区分に属する府県の人口動態に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2015年 岡山県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 人口増加が続いており、高齢化率は全国平均である25.1パーセントを下回っている。 | 2. 人口減少が進んでおり、高齢化率が全国平均である25.1パーセントを上回っている。 | 3. 人口密度は比較的高いものの、人口増減率は0パーセント付近で安定している。 | 4. 人口密度に比例して年少人口が増加しており、高齢化率は全国平均より低い。 |
|---|---|---|--|

問3 京都市の都市計画では、地区によって異なる高さ制限が設けられています。ある地区では近代的なビルが並ぶことを想定して三十一メートルまでの建築が認められていますが、伝統的な建築物が維持されている別の地区では、十二メートルまでという非常に厳しい制限が適用されています。このように地区ごとに異なる建設規制を設けている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|--|
| 1. すべての地区を一律に観光地化し、新しい建物の建設を一切禁止するため | 2. 各地区の歴史的な背景や特性に応じた景観の保存と、都市機能の維持を両立させるため | 3. 地価の上昇を抑えるために、すべての地区で建物の階数を制限するため | 4. 高層マンションの需要に応えるために、歴史的な地区でも順次規制を緩和するため |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|--|

問4 近畿地方において、特定の期間に外国人宿泊者数の増加率が著しく高くなった背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 内陸部の工業団地において、スマートフォンの部品を製造する外資系企業の工場がすべて撤退したため。 | 2. 歴史的な社寺や街並みなどの世界文化遺産が豊富に存在し、日本独自の文化を求めるインバウンド需要が高まったため。 | 3. 農村部で大規模な機械化農業が普及し、農産物の輸出入に従事する外国人の宿泊が義務付けられたため。 | 4. 臨海部に新たな石油化学コンビナートが次々と建設され、海外からの技術者の長期宿泊が急増したため。 |
|--|---|--|--|

問5 兵庫県の人口動態に関する統計資料において、2012年以降、県内へ移り住む人よりも県外へ移り住む人の方が多い状態が続いています。このような、移動による人口の減少を指す用語として適切なものはどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. 社会増 | 2. 転出超過 | 3. 自然減 | 4. 転入超過 |
|--------|---------|--------|---------|

問6 近畿地方などの都市部で特に発展している「情報通信業」は、情報の伝達や処理、ソフトウェアの開発、放送などのサービスを提供する産業です。日本の産業分類において、商業や観光業などとともにこの業種が分類される区分として適切なものはどれですか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 第3次産業 | 2. 第1次産業 | 3. 第4次産業 | 4. 第2次産業 |
|----------|----------|----------|----------|

問7 滋賀県にある日本最大の湖である琵琶湖から唯一流れ出し、京都盆地や大阪平野を経て大阪湾へと至る一級河川があります。京阪神大都市圏の生活や産業を支える主要な水源としての役割を果たしているこの河川の名称を選びなさい。（2024年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 利根川 | 2. 淀川 | 3. 信濃川 | 4. 木曾川 |
|--------|-------|--------|--------|

問8 日本の七地方区分において近畿地方に分類される県のうち、中部地方に属する県と陸上で直接境界を接している県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2017年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 三重県と滋賀県 | 2. 和歌山県と奈良県 | 3. 京都府と福井県 | 4. 兵庫県と大阪府 |
|------------|-------------|------------|------------|

問9 ある地域の人口移動について、昼間人口比率が100%を下回っている奈良県や兵庫県と、100%を超えている大阪府との関係を説明したものとして、正しい記述を選びなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 大阪府の昼間人口が多いのは、主に港湾施設での物流作業に従事する人々が周辺府県から集まるためである。 | 2. 大阪府は、奈良県や兵庫県に住む高齢者が医療や福祉サービスを受けるために昼間のみ移動してくる都市である。 | 3. 奈良県や兵庫県は、大阪府へ労働力や学生を送り出す「ベッドタウン」としての役割を果たしている。 | 4. 鉄道網の整備により、大阪府から周辺の府県へ通勤・通学する流れが、流入する流れを上回っている。 |
|--|--|---|---|

問10 日本地図において、紀伊半島の東側に位置し、極めて複雑な海岸線を持つ志摩半島が含まれる県名と、その地域で世界的に有名な養殖業の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 三重県 ― 真珠 | 2. 愛媛県 ― ホタテ | 3. 広島県 ― コンブ | 4. 和歌山県 ― ウナギ |
|-------------|--------------|--------------|---------------|

問11 近畿地方では、大阪や京都、神戸といった大消費地が近いことを活かして、野菜や畜産などが盛んに行われています。このように、大都市の周辺で行われる、鮮度の高い農産物を供給するための農業形態を何と呼びますか。（2024年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| 1. 企業的農業 | 2. 都市近郊農業 | 3. 抑制栽培 | 4. 促成栽培 |
|----------|-----------|---------|---------|

問12 近畿地方の諸県を比較した統計資料において、奈良県の「海面漁業生産額」が0となっている地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 1. 県域がすべて陸地に囲まれた内陸県であり、海に面していないため。 | 2. 紀伊山地の森林資源が豊富であり、産業の軸が林業に特化しているため。 | 3. 県内の漁業者がすべて琵琶湖での淡水漁業に従事しており、海での操業を行わないため。 | 4. 重要文化財などの歴史的景観を保護するため、水産加工場の建設が禁止されているため。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|---|

問13 京都市では、歴史的なまちなみや文化財を守るために、他の都市にはあまり見られない独自の都市景観に関する制限が設けられています。その地理的背景や取り組みに関する説明として、最も適切なものはどれか。（2017年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 盆地特有の歴史的な景観を維持するため、建物の高さや色、広告物のデザインに対して厳しい規制が行われている。 | 2. 大阪市や神戸市のような大都市への人口流出を防ぐため、盆地全体を大規模な工業団地として再開発している。 | 3. 観光客の増加に対応するため、歴史的な社寺を解体し、最新の宿泊施設や高層マンションの建設を推進している。 | 4. 周囲を海に囲まれているため、津波被害を防ぐ目的で海岸沿いに高い防潮堤を築く都市計画が優先されている。 |
|---|---|--|---|